

## 本部事業報告

### ① 法人関連会議開催状況

#### (1) 理事会の開催

- 第1回理事会 平成29年5月22日(土) 滋賀県立聴覚障害者センター  
(議事) ①報告事項  
②平成28年度事業報告、決算報告の件
- 第2回理事会 平成29年6月17日(土) 滋賀県立聴覚障害者センター  
(議事) ①理事長・常務理事の選出の件
- 第3回理事会 平成29年9月4日(水)  
(書面議案) ①人事委員会の設置のための委員選出の件
- 第4回理事会 平成29年10月26日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター  
(議事) ①定款一部改正の件  
②就業規則等改正の件
- 第5回理事会 平成29年12月16日(土) 滋賀県立聴覚障害者センター  
(議事) ①平成29年度補正予算の件
- 第6回理事会 平成30年3月15日(木)  
(書面議案) ①評議員欠員による評議員選任の件
- 第7回理事会 平成30年3月24日(土) 滋賀県立聴覚障害者センター  
(議事) 諸規則に関する承認する件、平成30年度事業計画、予算の件

#### (2) 評議員会の開催

- 第1回評議員会 平成29年6月17日(土) 滋賀県立聴覚障害者センター  
(議事) ①平成28年度事業報告、決算報告の件  
②理事・監事選任の件
- 第2回評議員会 平成29年12月16日(土) 滋賀県立聴覚障害者センター  
(議事) ①定款一部改正の件  
②平成29年度補正予算の件
- 第3回評議員会 平成30年3月24日(土) 滋賀県立聴覚障害者センター  
(議事) 諸規則に関する承認する件、施設長の選任を承認する件  
平成30年度事業計画、予算の件

#### (3) 評議員選任解任委員会の開催

平成30年3月20日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター

#### (4) 経営会議

- 第1回経営会議 平成29年5月12日(金) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第2回経営会議 平成29年6月26日(月) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第3回経営会議 平成29年8月22日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第4回経営会議 平成29年9月26日(水) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第5回経営会議 平成29年11月24日(金) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第6回経営会議 平成29年12月6日(水) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第7回経営会議 平成30年2月6日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第8回経営会議 平成30年3月13日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター

#### (5) 運営協議会

2017年度 平成30年3月6日(月) 滋賀県立聴覚障害者センター  
・出席/理事長・常務理事・事務局長他 委員出席/7名・欠席/4名

## (6) 諸規則プロジェクトチーム会議

- 第1回 勉強会 平成29年7月3日(月) 滋賀県立聴覚障害者センター
  - 第2回 勉強会 平成29年7月27日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター
  - 第3回 会議 平成29年9月13日(水) 滋賀県立聴覚障害者センター
  - 第4回 会議 平成29年10月2日(月) 滋賀県立聴覚障害者センター
  - 第5回 会議 平成30年1月30日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
  - 第6回 会議 平成30年3月6日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
- ・メンバー／常務理事・事務局長・3施設長、副所長

## (7) 人事委員会の開催

- 第1回 委員会 平成29年9月13日(水) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第2回 委員会 平成29年11月29日(水) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第3回 委員会 平成30年1月24日(水) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第4回 委員会 平成30年2月23日(金) 滋賀県立聴覚障害者センター
- 第5回 委員会 平成30年3月14日(水) 滋賀県立聴覚障害者センター

## (8) 職員組合との懇談

平成30年2月23日(水) 滋賀県立聴覚障害者センター

## (9) 県対要望

- 県障害福祉課長との懇談会 平成29年11月24日(木) 滋賀県庁
- ・出席／理事長、常務理事、事務局長、3施設長他

## (10) 監査

- 内部監査 平成29年5月12日(木) 滋賀県立聴覚障害者センター
  - ・出席／監事、事務局長他
  - ・内容／平成28年度事業報告及び決算等
- 社会福祉法人等指導監査 平成30年1月16日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター
  - ・出席／常務理事、事務局長他
  - ・内容／平成29年度社会福祉法人等指導監査

## ② 自主事業の実施

### (1) 法人季刊誌「BIWAKO33だより」の発行

- ①第84号 平成29年4月10日発行(1,000部)
- ②第85号 平成29年7月10日発行(1,000部)
- ③第86号 平成29年10月10日発行(1,000部)
- ④第87号 平成30年1月10日発行(1,000部)

### (2) 法人職員合同研修

- ・日時 29年10月18日(水)、午後2時～午後5時30分
- ・会場 滋賀県立聴覚障害者センター研修室
- ・「福祉の原点から考える～これからの社会福祉」  
講師：社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉協会専務理事 佐藤修氏
- ・職員出席者 24名(理事長、常務理事も含む)

### (3) 第17回聴覚障害者の社会的自立セミナー

- ・日時 30年3月17日(土)、午後1時～午後4時30分
- ・会場 滋賀県長寿社会福祉センター
- ・講演 「きこえない子どもと高齢聴覚障害者のくらし」講師：前田定幸氏

- ・分科会 第1「聞こえない子どもへの支援」  
第2「聴覚障害者のいろんな働き方・雇い方」  
第3「高齢聴覚障害者のくらし」
- ・参加者 約100名

### ③ その他

#### (1) 近畿合同機構に出席しました。

会議：

- ①平成29年4月26日(木) 大阪
- ②平成29年7月24日(月) 大阪
- ③平成29年7月26日(水) 大阪 経営交流会(各法人の経営状況)
- ④平成29年10月6日(金) 大阪
- ⑤平成29年12月1日(金) 大阪
- ⑥平成30年2月1日(木) 大阪

#### (2) 近畿合同機構 経営講座

- ・日時 29年12月4日(月)～5日(火)
- ・会場 全国手話研修センター
- ・出席 中西事務局長、松村主任

## 滋賀県立聴覚障害者センター事業報告

### ① 滋賀県立聴覚障害者センター運営・事業

#### 1. 施設の管理運営

滋賀県との委託契約により、滋賀県立聴覚障害者センターの管理運営を行いました。

#### 2. 利用状況

○年間のべ利用者数

7,941 人(聴覚障害者/3,261 人=41% 聴覚障害者以外/4,680 人=59%)

○月平均利用者数

659 人

○来所総累計

個人	1,683人
団体	6,258人

○利用者内訳

団体名	人数	団体名	人数	団体名	人数
ろうあ協会	2,032	法人後援会関係	309	センター・法人事業関連	3,439
中途失聴難聴者会	488	要約筆記関係	208	その他	427
手話通訳関係	434	字幕ボランティア他	35	関連団体	535
手話サークル関係	34	合計			7,941

#### 3. 滋賀県立聴覚障害者センターの管理運営事業

##### (1) 聴覚障害者等に対する生活相談の実施

○滋賀県内の聴覚障害者や家族、機関からの相談に年間 302 件対応しました。

○統計は、相談者の人数(機関などからの相談は1件)です。

生活相談担当1名分(きこえない相談員)です。

##### 1) 相談内容別件数

生活	労働	教育	医療	福祉情報	施設	法律	聴力	コミュニケーション	その他	計
79	46	4	23	9	73	5	0	37	26	302

##### 2) 相談受付経路

相談受付経路	本人	家族・関係者	機関	合計
人数	65	35	202	302

○相談内容は障害者差別解消法がスタートしてから相談が徐々に増えています。企業や学校等で環境の改善や情報保障やコミュニケーション保障などの支援を行いました。施設に関しては、びわこみみの里と湖北みみの里と連携してコミュニケーション支援や、施設入所等への支援などを行いました。

○相談経路では関係機関からの相談が一番多く、市町福祉事務所が抱えているケースについて一緒に取り組みました。電話やメールを利用した相談も増えています。

○大津市聴覚障害者相談設置事業の「おおつみみサロン」や「大津市聞こえ福祉講座」への協力をしました。

○当法人のびわこみみの里が主催する「聴覚障害者の就労にかかる情報共有会」(参加機関:びわこみみの里、滋賀県立聾話学校、働き・くらし応援センターらく、ハローワーク草津)に4回出席しました。平成30年3月17日(土)「第17回聴覚障害者の社会的自立を考えるセミナー」での第2分科会「聴覚障害者のいろんな働き方・雇い方」に協力しました。

○相談員としての資質の向上を図るための研修へ積極的に参加しました。「聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会2017(港区障害保健センター)」。

○近畿レベルの聴覚障害者相談支援担当者等とのネットワークの構築

「近畿ブロック聴覚障害者相談支援従事者連絡会」の幹事として大阪・京都・兵庫の聴覚障害者相談支援担当者と一緒に取り組みました。今年は、10月25日に奈良県聴覚障害者支援センターにおいて「近畿ブロック聴覚障害者相談支援従事者交流会」を開催。近畿各地からは48名の参加がありました。3月2日には、滋賀県立聴覚障

害者センターで「聴覚障害者などの生活場面で必要とされる通訳について～当事者と相談員と通訳の支援現場の在り方～」の研修を開催し、相談員1名と大津市聴覚障害者相談員1名が参加しました。全体では33名の参加がありました。

## (2)手話通訳者の派遣

- 手話通訳業務担当(2名)
  - ・聴覚障害者センター利用者及び関係機関担当者等との意思疎通の支援を実施しました。(269件/設置事業含む)
  - ・手話通訳者養成事業や現任者の研修企画、運営など手話通訳関連業務を担当しました。

## (3)情報機器の貸出

- 情報機器貸出数

貸出機器	台数
磁気ループ	33
オーバーヘッドカメラ(OHC)	14
プロジェクター	97
PC	521
スクリーン	87
補聴器	1
その他(※)	173
合計	926

(※)その他の貸出機器 ループ延長コード・マイク・PC 接続キット、TV・DVD 等。

## (4)その他

### ①広報誌「センターだより」の発行

- 年4回(第85号～第88号)発行。
  - ・第85号…平成29年4月10日発行(1000部)  
「第一～四回共生社会推進検討委員会のまとめ」他
  - ・第86号…平成29年7月10日発行(1000部)  
「全国聴覚障害者情報提供施設協議会の総会・大会開かれる」他
  - ・第87号…平成29年10月10日発行(1000部)  
「手話通訳者・要約筆記者『障害福祉の基礎知識』を合同で学習」他
  - ・第88号…平成30年1月10日発行(1000部)  
「3施設の職員が集い、合同研修を開催」他

### ②その他

- 聴覚障害者情報ネットワーク事業の実施。  
ホームページ・ブログ・メールマガジンによる情報発信
- 特定非営利活動法人 全国聴覚障害者情報提供施設協議会の聴覚障害者の情報メディアに関する専門委員会へ委員選出

## ② 平成 29 年度 聴覚障害者コミュニケーション確保対策事業報告

### 1. 手話通訳者養成・研修事業

#### (1) 手話通訳者養成事業

○通訳養成Ⅰは6月から3月まで、通訳養成Ⅱは4月から11月まで、それぞれ長期間にわたる講座となっています。どちらのコースも2つの時間帯を設定し(昼・夜)し、通訳者養成Ⅱは、聴覚障害者センター(昼)と彦根市障害者福祉センター(夜)の2ヶ所で開催しました。

	通訳者養成Ⅰ	通訳者養成Ⅱ
昼コース	6名/7名	12名/12名
夜コース	3名/3名	7名/7名
合計	9名/10名	19名/19名

(修了者/受講者)

- 講座内容では、手話通訳の理念や活動に関連した知識の学習や、文章・手話の要約やポイントをまとめるなど「翻訳」の力を伸ばす学習、また、場面を想定して通訳等を行うロールプレイの演習、実際場面での通訳実習等を取り入れてきました。
- 講座の運営にあたっては、手話通訳者養成講座担当講師会議を開催し、その都度協議を行いながら指導内容の向上に努めました。
- 通訳者養成Ⅱでは、手話通訳者全国統一試験受験対策講座を2会場各2回開催し、実技試験対策に努めました。
- 市町の手話奉仕員養成講座基礎を修了した方々を手話通訳者養成へつなげるため、手話ステップアップ講座を3回開催し、33人の申し込みがありました。(延べ92名参加)

#### (2) 手話通訳者認定試験

○手話通訳者全国統一試験には、同通訳養成Ⅱ課程からは18名が受験をしました。同試験には昨年度までの修了生を含め28名が受験を申し込み、27名が受験しました。合格者は3名でした。(全国の合格率は12.89%)

#### (3) 手話通訳者現任研修

○登録手話通訳者を対象に「価値・倫理」、「知識」、「技術」、「健康」をテーマについて研鑽を行い、資質向上をめざして7回開催しました。

「知識」では、聴覚障害者のくらしの実態から学ぶことを重点に開催しました。湖北みみの里では、湖北みみの里設立の経緯を学びながら、当事者の願いや聴覚障害者の暮らしの変化を知りました。また、活動の基本となる「障害福祉の基礎知識」をあらためて学ぶことにより、知識の基礎かためを行いました。

「価値・倫理」「技術」では、全通研のありかた研究会の講師2名により、マンガ事例から事例検討の進めかたを学びました。「健康」は、毎年4月に開催して健康に対する意識を持って活動を進めています。

会場は、草津市と近江八幡市、米原市など県内各地で開催しました。

○手話通訳者には、年1回以上の研修会への参加を活動休止者を含めて義務づけています。しかし、介護など家庭の事情で休止している方は研修の参加も難しく、一度も参加していない手話通訳者も少なからずありました。

	日時/会場	研修テーマ/講師	参加人数
①	4月30日(日) 草津市立まちづくりセンター	「手話通訳者・要約筆記者がいきいきと活動するために」 滋賀医科大学社会医学講座衛生学 北原 照代氏 「笑って健康! 笑って元気!」 びわこ笑いヨガクラブ主宰 西村 ますみ氏	24名
②	6月29日(木) 湖北みみの里	「湖北みみの里の取り組みと聞こえない人のくらし」 湖北みみの里 田邊 理恵子 スタッフ3名	13名
③	8月6日(日) 草津市立サンサンホール	「障害福祉の基礎知識」 手話通訳士 向日市障がい者支援課 岩谷 誠司氏	24名

④	9月22日（金） 近江八幡市総合福祉センター ひまわり館	「マンガ事例検討から考える パート1」 全通研あり方検討委員会 本岡 千都氏	18名
⑤	10月27日（金） 聴覚障害者センター研修室	「聴覚障害者のくらしと私たちの仕事」 京都府、ろう者相談員 浅井 ひとみ氏	15名
⑥	2月25日（日） 聴覚障害者センター研修室	「マンガ事例検討から考える パート2」 全通研あり方検討委員会 原田 洋行氏	32名
⑦	3月3日（土） 聴覚障害者センター研修室	「手話のなりたちとその表現」 全国手話研修センター 高塚 稔氏	26名

○地域の課題についての意見交換を目的に、地域別懇談会を彦根市、草津市の2か所で開催しました。述べ12人の参加があり、日ごろの思いや地域の課題を検討することができました。休止中の通訳者の活動開始の場としても活用できました。

○新規登録者の研修を、5月～8月間に派遣実施をしながら振り返りを行いました。(3回)

## 2. 要約筆記者養成・研修事業

### (1) 要約筆記者養成事業

#### ○事業概要

[手書きコース後期課程]4月11日(火)～8月29日(火)17回 県立聴覚障害者センター

- ・対象者:手書きコース前期課程 修了者9名/受講者9名
- ・前期に習得した要約筆記の基本的技術に加え実践的な学習を行いました。理論では「聴覚障害者の運動史」、「対人援助」、「中途失聴者・難聴者の臨床心理」、「通訳者の倫理」など、また技術面では「ノートテイクの技術」を始め、「場面对応」、「派遣現場での事例検討」などから基本的な考え方を習得しました。

[パソコンコース前期課程]9月5日(火)～2月6日(火)17回 県立聴覚障害者センター

- ・修了者 10名/受講者 12名
- ・県、市町意思疎通支援事業に対応できる技術をもった要約筆記者の養成を目標に、聴覚障害に関する基礎知識、日本語の特徴、語彙と用法、日本語表記など基礎的知識を学んだうえで、要約筆記事業の位置づけ、要約筆記の目的を理解したのちに要約筆記における表記、意図を伝える要約の実習を重ね、最終講では福祉サービスの担い手としての役割を習得しました。

#### [認定試験の実施]

- 実施日:2月18日(日) 県立聴覚障害者センターにて認定試験を実施
- 受験者数:手書き 10名 パソコン 3名
- 合格者:パソコン 1名

### (2) 指導マネジメント講座

○指導者を対象に養成講座における指導ポイントや指導者が習得しておくべき内容の確認、また模擬講義も実施し意見交換を行いました。また、前年度の全国要約筆記指導者養成研修の受講者からの報告も実施しました。

実施日:5月2日(木)

受講者数:手書き指導者7名、パソコン指導者6名、難聴指導者1名。合計 14名

### (3) 要約筆記者現任研修

○登録要約筆記者を対象に、通訳技術や聞こえない人を取り巻く状況や制度について研鑽を行い、資質向上をめざして6回開催しました。研修会は、「価値・倫理」、「知識」、「技術」、「健康」をテーマに開催しています。

「知識」では、聴覚障害者のくらしの実態から学ぶことを重点に開催しました。湖北みみの里では、湖北みみの里設立の経緯を学びながら、当事者の願いや聴覚障害者の暮らしの変化を知りました。また、活動の基本となる「障害福祉の基礎知識」をあらためて学ぶことにより、知識の基礎かためを行いました。

「価値・倫理」では、報告書からの事例検討でグループワークを行いました。また、全要研講師による講義で、倫理

綱領の理解を深めました。「技術」では、パソコンによる入力練習や前ロールの扱いについて意思統一を図りました。「健康」は、毎年4月に開催して健康に対する意識を持って活動を進めています。

会場は、草津市と近江八幡市、米原市を県内各地で開催しました。

- 要約筆記者には、年1回以上の研修会への参加を活動休止者をも含めて義務づけています。しかし、研修日に派遣依頼が重なり、派遣を優先することによって研修の機会を活用できない要約筆記者もあり、確実な参加には結びつかない状況にあります。

	日時／会場	手法	研修テーマ／講師	参加人数
①	4月30日(日) 草津市立まちづくりセンター	共通	「手話通訳者・要約筆記者がいきいきと活動するために」 滋賀医科大学社会医学講座衛生学 北原 照代氏 「笑って健康！笑って元気！」 びわこ笑いヨガクラブ主宰 西村 ますみ氏	23名
②	6月29日(木) 湖北みみの里	共通	「湖北みみの里の取り組みと聞こえない人のくらし」 湖北みみの里 田邊 理恵子 スタッフ3名	9名
③	7月12日(水) 県立聴覚障害者センター	手書き	報告書からの事例検討	16名
④	8月6日(日) 草津市立サンサンホール	共通	「障害福祉の基礎知識」 手話通訳士 向日市障がい者支援課 岩谷 誠司氏	12名
⑤	8月27日(日) 県立聴覚障害者センター	パソコン	午前：登録歴、派遣歴の浅い人向けの入力研修 午後：前ロールの扱いについて	午前 2名 午後 12名
⑥	1月28日(日) 草津市立サンサンホール	共通	「倫理綱領の理解を深める」 全国要約筆記問題研究会理事 山岡 千恵子氏	13名

- 地域の課題についての意見交換を目的に、地域別懇談会を近江八幡地域で開催しました。2名の参加があり、日ごろの思いや地域の課題を検討することができました。

### 3. 意思疎通支援者(手話通訳者・要約筆記者)派遣事業

#### (1) 手話通訳者派遣事業

- 登録手話通訳者数 136名(内、手話通訳士39名含む)
- 通訳内容の主訴を把握し、依頼者の要望に応じた派遣の実施に努めました。また、手話通訳者の健康にも配慮しました。
- 29年度コミュニケーション支援担当者研修会(全国情報提供施設連絡協議会主催・7月)に参加しました。
- 手話通訳の健康対策の一環として頸肩腕検診と講習会を実施しました。

#### ○派遣実施状況

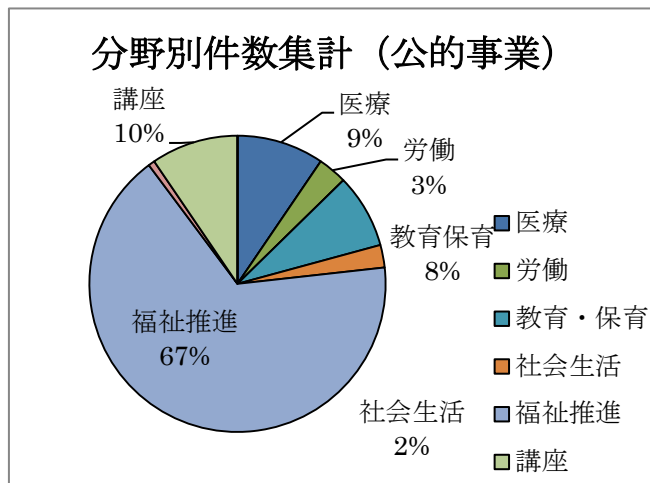
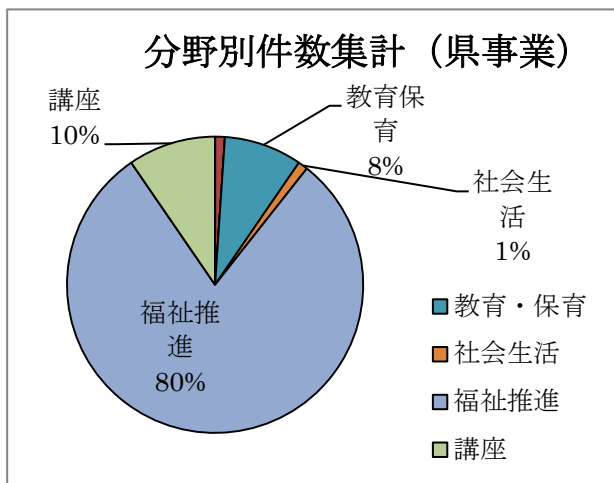
	県事業	公的事業	合計
派遣件数	94件	284件	378件
派遣人数	194人	602人	796人

- 県事業は、県の機関が主催する行事や、県内の聴覚障害者団体が主催または共催する広域な行事に派遣しているものです。滋賀県ろうあ協会が主催する行事や会議、滋賀県中途失聴難聴者協会、盲ろう者友の会など当事者団体の行事や会議にも派遣を行っています。

- 公的事業は、公的な機関や団体が予算化した行事や集会などへ派遣しているものです。10月、11月、2月の派遣が多くみられました。



○聴覚障害者の資格やスキルアップなど、職場や生活に必要な技術研修に関する通訳依頼があります。市町委託事業で対応するものもありますが、主催者依頼も少しずつですが見られます。手話通訳者の配置に関する調整を依頼団体と共有し、聴覚障害者が参加しやすい工夫と理解を広めました。



## (2) 要約筆記者派遣事業

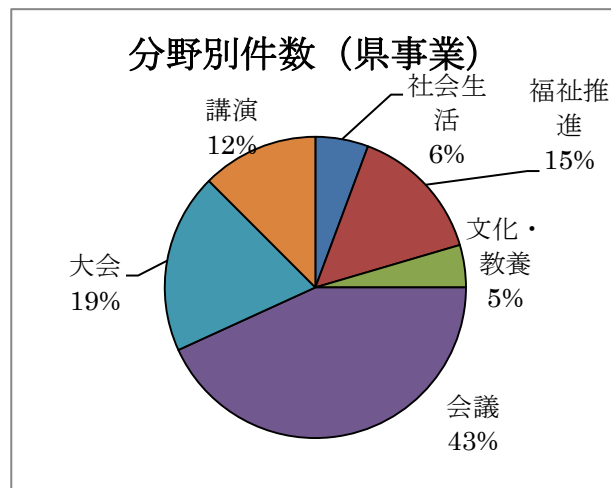
- 登録要約筆記者数 86名
- 通訳内容の主訴を把握し、依頼者の要望に応じた派遣の実施に努めました。また、要約筆記者の健康にも配慮しました。
- 29年度意思疎通支援担当者研修会(全国情報提供施設連絡協議会主催・7月)に参加しました。
- 要約筆記者の健康対策の一環として頸肩腕検診と講習会を実施しました。
- 派遣実施状況

	県事業	公的事业	合計
派遣件数	88件	85件	173件
派遣人数	321人	271人	592人

### ○県事業の分野別件数

	社会生活	福祉推進	文化・教養	会議	大会	講演	合計
件数	5件	13件	4件	38件	17件	11件	88件
人数	14人	41人	15人	135人	69人	47人	321人

○県事業は、県の機関が主催する行事や、県内の聴覚障害者団体が主催または共催する広域な行事に派遣しているものです。滋賀県中途失聴難聴者協会、人工内耳友の会など当事者団体の行事や会議にも派遣を行っています。

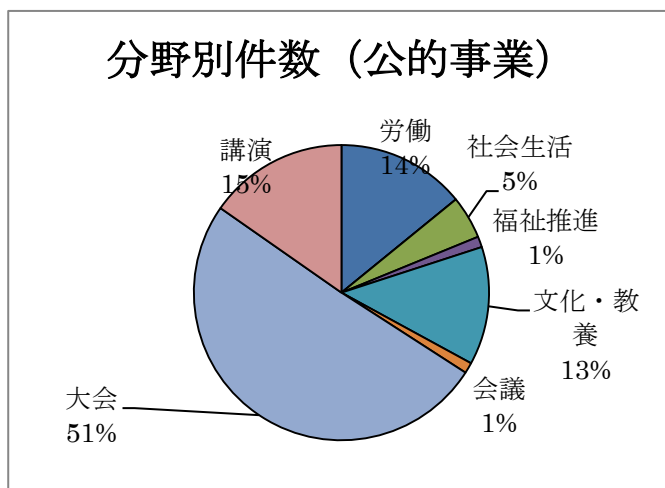


### ○公的事业の内容別実施状況

	労働	教育・保育	社会生活	福祉推進	文化・教養	会議	大会	講演	合計
件数	12件	0件	4件	1件	11件	1件	43件	13件	85件
人数	34人	0人	13人	2人	24人	2人	144人	52人	271人

○公的事業は、公的な機関や団体が予算化した行事や集会などへ派遣しているものです。10月、11月、2月の派遣が多くみられました。

○差別解消法の施行による聴覚障害者への合理的配慮で、要約筆記を初めて配置する団体とは、聴覚障害者が参加しやすい工夫や、要約筆記者の配置に関する調整を共有し行事や集会を開催しました。



#### 4. 市町域・都道府県を超える意思疎通支援者(手話通訳者・要約筆記者)派遣調整事業

[実施内容]

○意思疎通支援の派遣において、市町域間、都道府県域を超えての派遣が必要な時に、市町からの要請を受けて、派遣先の関係機関(団体等)との派遣調整を行いました。

#### 5. 手話通訳者設置事業

○手話通訳業務担当(1.5名)

- ・手話通訳業務では、専門的な内容や継続的なケースへの対応をはじめ、関係機関との連携したケースの対応等を行いました。(204件/管理運営担当職員分含む)
- ・手話通訳者派遣事業のコーディネーター担当としての業務やそれに関連する事務、また、研修会の企画、運営などを担当しました。
- ・市町との連携では、市においては障害福祉担当者、設置手話通訳者等と連携しながら手話通訳を実施し、町においては、障害福祉担当職員と連携を図りながら、暮らしに関わる助言等を行いました。

#### 6. 聴覚障害者生活訓練事業

(1) 日曜教室事業

1) いきいき教室の開催

センターの利用が困難な湖北圏域・湖西圏域で暮らす聴覚障害者を対象に、日常生活に必要な知識や情報、生活技術などについて集団的な学習や体験、交流ができる場(いきいき教室)を開催しました。

1. 湖北地域 日程: 毎月第3水曜日 10時～15時

実施日	会場	主な内容	参加者
5月17日	湖北みみの里	健康なからだづくり～転倒を予防しよう～ 講師: 米原市くらし支援課	26名
6月14日	湖北みみの里	健康なからだづくり～熱中症を知って防ごう～ 講師: 大塚製薬会社	30名
7月19日	湖北みみの里	健康なからだづくり～食中毒を防ごう～ 講師: 特別養護老人ホーム坂田青成苑	25名
8月23日	湖北みみの里	手話で絵本のよみきかせ 講師: 北川千津子氏	25名
9月20日	湖北みみの里	身体にやさしい簡単な料理教室 講師: 小西久代氏	26名
10月12日	湖北みみの里	防災学習/日頃の備えを大切にしよう 講師: 米原市危機管理課 草津の聾話学校の思い出語り	31名

		講師:田中欣也(センター職員) 夏原太治男氏 岡猪三郎氏	
11月29日	湖北みみの里	「デフリンピックについて知ろう」 講師:内海優氏	27名
12月20日	湖北みみの里	みんなで笑顔のクリスマス会 協力:ふくろう	22名
1月17日	湖北みみの里	健康なからだづくり～感染症や脳卒中を予防しよう～ 講師:社会福祉法人ひだまり	23名
2月21日	湖北みみの里	リメイク教室～針金ハンガーを使って壁掛けハンキングバスケットを作ろう～講師:米原市社会福祉協議会	20名
3月14日	湖北みみの里	ワクワク!知ってるかな?歴史上の人物を知ろう 講師:増田 美智子氏	16名

- 湖北圏域での定期開催も10年目となり、毎回湖北・湖東圏域を中心に多くの方の参加があります。参加の平均人数は25名。のべ271名の方の参加がありました。
- 参加者の年代は、開催が平日ということもあり60歳代以上が大半を占めます。
- 午前は集団学習を実施しました。健康に関することを中心に取り上げました。午後からはみんなで簡単にお菓子作りと、毎月1回気軽に健康について相談できる場として、保健師による健康相談会を実施しました。
- 去年までは外出企画を設けましたが、参加者の高齢化のため、今年は実施しませんでした。
- いきいき教室全体として高齢者が参加しやすいように送迎や福祉圏の各地域での開催の検討も必要ではないかと感じられました。

## 2. 湖西地域

実施日	会場	主な内容	参加者
8月27日 10時～ 12時	湖西総合在宅サービスセンター ほろん	生活習慣を学ぼう～がん予防について～ 講師:高島市健康推進課	13名
1月13日 10時～ 14時45分	安曇川公民館	病気に負けない健康からだづくりの 料理教室 講師:小西久代氏	6名

- 湖西圏域では、いきいき教室を2回開催しました。
- 開催には、高島市と湖西総合在宅サービスセンターほろんのご協力を得ています。
- 8月は現地の聴覚障害者との交流も兼ねて、手話奉仕員養成講座の受講生にも呼びかけました。
- 1月は聴覚障害者の栄養士による健康に関する料理教室を開き、家でもやれるような調理方法で参加者は喜ばれていました。午後からの栄養に関する学習会でも参加者一人一人が日頃困っていること、感じていることを気軽に相談できる機会にもなりました。

### 2)いきいきサロンの開催

- 当センターを会場に、聴覚障害者に関する映像を見て自由におしゃべりや交流を行う「いきいきサロン」を開催しました。
- 参加の平均人数は6名。のべ38名の方の参加がありました。
- 日程:三ヵ月に1回開催。第一木曜日の10時～12時に開催

実施日	主な内容	参加者
5月11日	ビデオを見る会「続・名もなく貧しく美しく 父と子」	9名
7月6日	ビデオを見る会「珈琲とエンピツ」	7名

9月7日	ビデオを見る会「おしえてタモちゃん！」	7名
11月2日	おしゃべり会&ワークショップ「昔のろう話学校について語り合おう」 コーディネーター：田中 欣也（センター職員）	7名
1月11日	ビデオを見る会「湖北みみの里紹介ビデオ」「いきいき劇団もも太郎」	7名
3月1日	ビデオを見る会「Start Line」	1名

### 3) 中途失聴・難聴者を対象とした暮らしの情報講座

- 中途失聴・難聴者を対象に、暮らしの情報を学ぶ講座を年2回開催しました。
- 開催に際しては、滋賀県中途失聴難聴者協会と人工内耳友の会 ACITA 滋賀支部 瑠璃のびわこの協力のものと、企画内容の相談や周知を図りました。
- 中途失聴・難聴者を対象としていますので、情報保障として要約筆記や磁気誘導ループが付きます。講師とは事前に打ち合わせを行い、聴覚障害や要約筆記について理解を求めることで、とてもわかりやすい学習ができました。

実施日	会場	主な内容	参加者
7月16日	明日都浜大津	聞こえない、きこえにくい人の暮らしを支える 要約筆記って？ 講師：吉田久美子氏	13名
2月10日	草津市立サンサンホール	感染症を予防しよう 講師：滋賀県立衛生科学センター	6名

### 4) ICT講座

- 今年度は開催に向けて日程調整ができず開催できませんでした。

### (2) 手話講習事業

- 聴覚障害者のための手話学習会(1回実施)

実施日	テーマ	講師	参加者
1月20日(土)	「コミュニケーションに必要なこととは？」	キム ナムユン氏 (認定NPO法人 名古屋ろう国際センター理事長)	25名

聴覚障害者が意図的に日本語を学習することにより、日本語文化の特徴を知るきっかけとなり、助詞や指示語の使用の幅を広げ、読むことと書き言葉の習得につなげている取り組みをわかりやすく話していただきました。手話学習会を実施することで、参加者の理解度が上がったというアンケート結果が得られました。

- 手話指導者養成講座

回数	日程	曜日	時間	内容	受講生
1	4月22日	土	10:00~16:00	手話奉仕員養成 改訂テキストの指導ポイント 入門編①	15名/ 法人登録講師6名 修了9名(新規)
2	5月20日	土	10:00~16:00	入門編②	
3	7月29日	土	10:00~16:00	入門編③・模擬指導	
4	8月26日	土	10:00~16:00	基礎編①	
5	11月18日	土	10:00~16:00	基礎編②・まとめ	

「手話奉仕員養成の指導力向上」は、土曜日に全5回25時間で、手話奉仕員養成入門編・基礎編を開催しました。法人登録者も含めて15名が受講しました。手話奉仕員養成の学習者に求められる知識や技術についての講義とともに、実技指導の学習では、モニター生の協力を得て模擬講座を2回行いました。

### (3)聴力相談事業

#### 1)きこえの相談

○月1回、土曜日（午前10時～午後4時）。年14回実施（※）高島市内(6月、10月)、米原市内(8月、12月)

○相談者の地域分布(人数)

大津市	14名	草津市	17名	近江八幡市	1名	米原市	2名
高島市	7名(※)	栗東市	5名	東近江市	2名	長浜市	8名(※)
甲賀市	3名	守山市	4名	日野町	1名	—	—
湖南市	1名	野洲市	2名	彦根市	7名	—	—

○相談者の年齢構成(人数)

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
2名	1名	0名	5名	5名	17名	23名	21名	74名

○主な相談内容

- ・相談人数は増加率が約1.5倍となりました。聞こえに不自由を感じる方の相談ニーズが高まっています。相談者の履歴は、初めての方(50名)と再来者(24名)でした。全体の傾向は、70才以上の方が2/3を占めていること、また、若年層(10代～20代)の相談者も少なからずおられました。
- ・相談内容の主なものは、「電話の声やテレビの音が聞きとりにくい」、「補聴器をつけてもよく聞こえない」など聞こえについての不安や悩みについての相談や、「家族、配偶者との間でのコミュニケーションがとりにくいため困っている」などの相談が多く見受けられました。
- ・聞こえに関する相談では、補聴器の購入や使い方、手帳取得に関する助言などを行いました。

## 7. 聴覚障害児及び保護者サポート事業

○聴覚障害児を育てる家族(保護者)等が、子どもに対する悩みや将来への不安などを解消するため、聴覚障害に関する情報やコミュニケーション手段、保護者相互の交流の機会を設けることで、子育てや親子の豊かなコミュニケーションづくりを支援しました。

○地域で孤立しがちな聴覚障害児やその家族等に対して、聴覚障害児相互の交流や集団活動の場を提供することにより、聴覚障害児同士の交友関係や豊かなコミュニケーションの広がり場をつくりました。

(実施内容)

①聴覚障害児を育てる家族(保護者)等を対象にした学習や交流の企画“のびのびサロン”を年6回開催しました。

日程	会場	内容	参加者
6月18日(日)	県立聴覚障害者センター (草津市)	「聞えないこと・聞こえにくいこととは？」 講師：板垣幸男 (びわこみみの里職員)	8名
7月23日(日)	県立聴覚障害者センター (草津市)	「聴覚障害の障害認識について」 講師：森井結美氏 (奈良県立奈良ろう学校 教諭)	13名
9月24日(日)	県立聴覚障害者センター (草津市)	「自分の障害について、 自分の受けた教育について」 講師：大川葵氏 安井将氏	9名
11月19日(日)	県立聴覚障害者センター (草津市)	「親子ワークショップ」 講師：北川千津子氏 市川広美氏 安岡まち子氏	7名
2月18日(日)	県立聴覚障害者センター	「難聴児・生徒理解ハンドブックを出して」	12名

	(草津市)	講師:小網 輝夫氏 (新潟県立長岡ろう学校 教頭)	
3月10日(土)	県立聴覚障害者センター (草津市)	「滋賀県の聴覚障害児教育の現状」 講師:庄司智子氏 (滋賀県立聾話学校 教諭)	16名

②聴覚障害児やその家族等の余暇支援と交流を目的に“クローバークラブ”を年2回開催しました。  
年4回開催予定でしたが、そのうちの2回は参加申し込みが一組あるかない状況でしたので中止となりました。

日程	会場	内容	参加者
12月17日(日)	びわこみみの里 (守山市)	みんなでクリスマス会を楽しもう	9名 (4家族)
2月4日(日)	におの浜ふれあい スポーツセンター(大津市)	バスケットボールで遊ぼう	19名 (10家族)

## 8. 手話通訳士養成講座開催事業

- 手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)の受験者を対象に、実技講習9回、講義1回を行いました。受講生は6名の参加がありました。学習内容は、試験対策を重視し、個別指導を強化するなど講座の充実に努めました。実技学習はインターネットを活用し、動画アップロードを88回(受講生自宅を含む)行いました。
- 手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)には受講者6名が受験し、合格者はありませんでした。  
[手話通訳士試験の全国の合格率は8.2%]

## 9. 字幕入りビデオ制作・貸出し事業

[事業内容]

- ①聴覚障害者用ビデオの制作(自主制作)(2本)
  - 「げんきいっぱい湖北みみの里へ10分」手話・字幕・DVD・BD
  - 「滋賀県立聾話学校創立90周年記念DVD」30分 手話・DVD
- ②ビデオライブラリーの貸出
  - ビデオ貸出件数 18件 23本(昨年度36件83本)
  - 登録者数 聴覚障害者・団体登録者(491名)一般・団体登録者(556名)

[特徴点]

- DVD制作に加えBD(ブルーレイディスク)の制作を行いました。
- 聴覚障害者への情報提供のために啓発・教材DVDの字幕制作を行いました。
- VHSテープの貸出の減少に伴いVHSテープを整理しました。
- 第14回さがの映像祭に平成29年度製作の「元気いっぱい湖北みみの里」を出品しました。

- ③聴覚障害者情報提供施設協議会 聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会への参加。  
主催:全国聴覚障害者情報提供施設協議会  
日程:平成29年11月8日(水)～11月10日(金)  
場所:岡山県聴覚障害者センター  
内容:遠隔手話通訳について・電話リレーサービスについて・アイトラゴン4について・岡山県聴覚障害者センターの映像製作について・Deaf-Vのあるある映像制作・映像制作に関するワークショップ

## 10. 映像配信事業

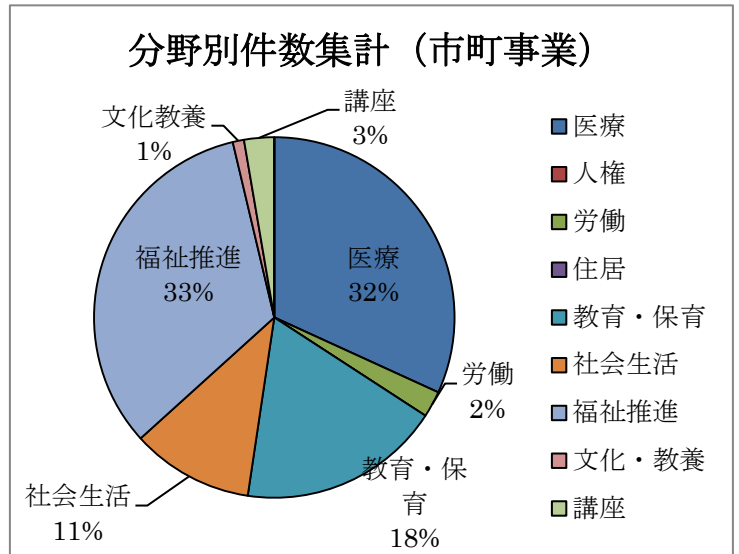
- ①動画配信/20コンテンツ【youtuで配信】 再生回数/3540回

### ③ 市町委託事業

#### 1. 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

##### (1) 手話通訳者派遣事業

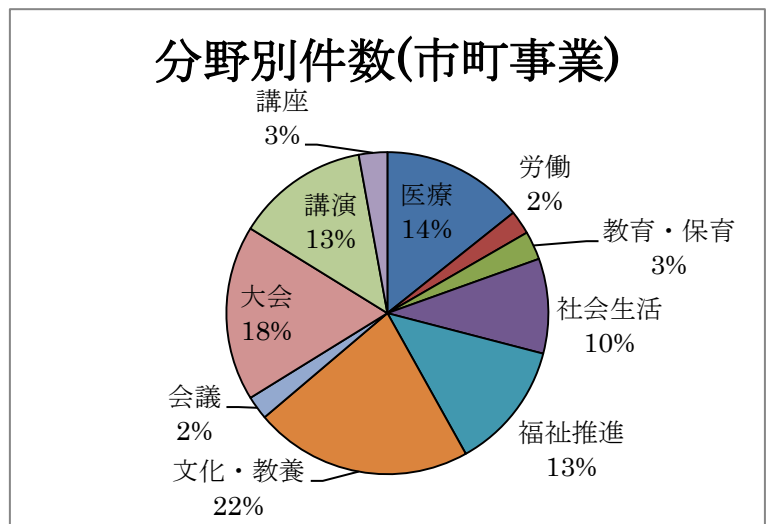
- 市町事業は、市町から委託を受けた派遣です。市町単独の派遣事業や専任通訳者の対応もありますが、依然として委託による依頼が多くあります。
- 分野別では医療、教育、社会生活が多くを占め、医療においては、昨年の1.47倍の増加です。聴覚障害者個人の生活に密着した依頼が特徴です。また、市町主催の講演会など福祉推進分野も多くあります。



	医療	人権	労働	住居	教育	社会生活	福祉推進	文化	講座	放送	啓発講座	合計
件数	189	0	14	0	108	65	196	6	16	0	0	594
人数	190	0	14	0	133	105	423	7	30	0	0	902

##### (2) 要約筆記者派遣事業

- 市町事業は、市町から委託を受けた派遣です。
- 分野別では医療、社会生活、文化・教養が多くを占め、聴覚障害者個人の生活に密着した依頼が特徴です。また、講演・大会・会議等の主催者が用意する福祉推進も多くあります。



	医療	労働	教育・保育	社会生活	福祉推進	文化・教養	会議	大会	講演	講座	合計
件数	30	5	6	20	27	46	5	37	28	6	210
人数	30	8	10	38	69	94	10	135	92	9	495

#### 2. 市町手話奉仕員養成事業に係る講師派遣（受託事業）

- 米原市手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)  
[期間]平成29年6月6日から平成29年12月19日、毎週火曜日〈午後7時00分～9時00分〉  
[講座数]全23講座
- 彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)  
[期間]平成29年6月15日から平成29年12月14日、毎週木曜日〈午後7時00分～9時00分〉  
[講座数]全24講座
- 東近江市・日野町・竜王町手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)  
[期間]平成29年5月16日から平成29年10月31日、毎週火曜日〈午後7時00分～9時00分〉  
[講座数]全23講座

- 近江八幡市手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)
  - [期 間]平成 29 年 6 月 1 日から平成 29 年 11 月 16 日、毎週木曜日〈午後 7 時 00 分～9 時 00 分〉
  - [講座数]全 23 講座
- 守山市・野洲市手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)
  - [期 間]平成 29 年 5 月 11 日から平成 29 年 10 月 26 日、毎週木曜日〈午後 7 時 00 分～9 時 00 分〉
  - [講座数]全 23 講座
- 甲賀市手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)
  - [期 間]平成 29 年 5 月 24 日から平成 29 年 11 月 8 日、毎週水曜日〈午後 7 時 00 分～9 時 00 分〉
  - [講座数]全 23 講座
- 湖南市手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)
  - [期 間]平成 29 年 6 月 6 日から平成 29 年 11 月 14 日、毎週火曜日〈午後 7 時 00 分～9 時 00 分〉
  - [講座数]全 23 講座
- 草津市手話講座(手話奉仕員養成講座基礎編)
  - [期 間]平成 29 年 5 月 19 日から平成 29 年 11 月 24 日、毎週金曜日〈午後 7 時 00 分～9 時 00 分〉
  - [講座数]全 23 講座
- 高島市市手話講座(手話奉仕員養成講座入門編)
  - [期 間]平成 29 年 5 月 26 日から平成 29 年 11 月 10 日、毎週金曜日〈午後 1 時 30 分～3 時 30 分〉
  - [講座数]全 20 講座

### 3. 登録手話通訳者・要約筆記者の健康管理事業

(事業の目的)

聴覚障害者の社会参加を促進する「手話通訳者・要約筆記者派遣事業」の担い手である登録手話通訳者、要約筆記者が健康で活動が続けられるように、同派遣事業の実施主体である滋賀県・市 町・当法人が健康管理に関連した事業を実施するもの。

(実施内容)

#### ①健康管理委員会の設置

登録活動者の健康管理や予防対策を目的とした同事業が円滑に行われるよう、関係団体の委員で構成する「健康管理委員会」を設置し、検診の運営及び検診結果や課題に対する検討などを行いました。

#### ②頸肩腕検診の実施

登録手話通訳者 118 名、要約筆記者 68 名(活動休止者を除く全員)を対象に一次検診(スクリーニング)、二次検診(特殊検診)を実施しました。一次検診の間診票の回収率は、手話通訳者が 92%(昨年 89%)、要約筆記者が 88%(同 83%)で、どちらも昨年を超える回収率となりました。これらは団体からの呼びかけ等の取り組みも合わせての成果と言えます。二次検診は、草津市内に会場を設け、2日間実施しました。昨年度に引き続き、大阪社会医学研究所(検診機関)による問診(血圧測定、身長、体重測定含む)医師による診察、関係団体の協力による「相談ブース」の設置を行いました。

#### ③検診結果を生かす取り組み

検診の結果を踏まえた派遣業務を行うと共に、業務軽減が必要な B3 以上の対象者には聞き取り等の面談を行ったり、派遣事業の直営市に対しては、重複登録者(県と市)の健康管理に生かすため、情報の共有化を図りました。

#### ④衛生教育の実施

登録者が健康で活動を続けるため、健康に関する研修会を開催しました。また、検診結果や登録者の健康の取り組みや課題等を関係者に広く啓発する意味で、聴覚障害者関係団体や行政など幅広く呼びかけ、健康管理講習会(平成 30 年 4 月 28 日)を開催しました。



## ④ 自主事業

### 1. 聴覚障害者理解のための啓発事業

○依頼団体(機関)と実施数及び受講対象者(単発)

依頼機関	件数	対象者	人数
企業	2	社員	150
学校	6	学生	579
行政	2	職員	50
団体	3	参加者	90

(連続)

依頼機関	件数	回数	対象者	人数
企業	1	10	社員	10
団体	1	3	職員等	18
学生団体	1	4	大学生	10
行政	3市2町	32	市町民	47

○障害者差別解消法がスタートされ、聴覚障害者の理解の大切さ、障害者差別の解消につなげるための取り組み方などを進めています。

聴覚障害者を雇用している企業からの連続講座や、聴覚障害者の雇用をきっかけに社員教育の一環で学習会を開催する企業が2社ありました。初めて聴覚障害者を雇用する企業から、合理的配慮について問い合わせがあり、随時対応しました。

○各市手話奉仕員養成から手話通訳者養成課程に繋ぐためのステップアップ講座を実施し、手話通訳者養成の申込みが少しずつ増えています。

○湖南広域行政組合消防職員に対して研修は毎年実施されており、聴覚障害者の理解を広めるとともに、現場活動でのコミュニケーションを習得しました。滋賀県内の消防署全てで取り組んでいただけるよう働きかけていく必要があります。

○滋賀県教育委員会が主催する「しが学校支援メニューフェア」には、手話等啓発事業の一環として、定着しており、教員を対象とした「学校支援メニューフェア」(ピアザ淡海:平成29年8月4日)にはブースを出展しました。手話及び聴覚障害についての理解と関心を深めることを目的として、聴覚障害者の暮らしを知ってもらうための日常生活用具やDVD「私のたいせつな家族」「聴覚障害者のしごと」の視聴を行いました。

○講師現任研修を3回実施しました。

### 2. 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

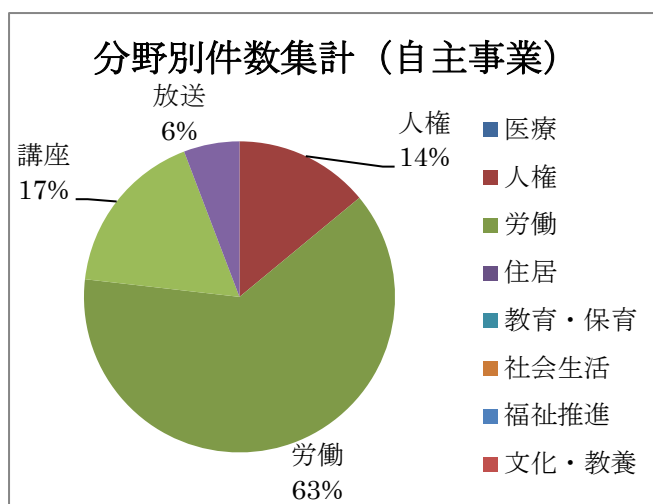
#### (1) 手話通訳者派遣事業

○自主事業は、企業や高等教育、放送など専門分野へ派遣しているものです。

○件数は207件でした。労働分野は企業などの研修への派遣が主で、前年度同様に大半を占めています。企業研修は、長時間、数日間に亘る内容が多く、1日の派遣人数が多くなるのが特徴です。特に、新規採用の聴覚障害者研修では、聴覚障害者が初めて情報保障を利用することもあり、適切な保障がされているかを検証しながらの派遣となります。企業のニーズにこたえられるよう、打ち合わせを十分に行っています。

○公的機関に雇用された聴覚障害者の研修、会議への派遣も増加しています。

○放送分野では、県広報番組に協力しています。地域のケーブルTV番組の手話挿入には、4月～10月まで7回14人を派遣しました。



	医療	人権	労働	住居	教育 保育	社会 生活	福祉 推進	文化 教養	講座	放送	啓発 講座	合計
件数	0	29	130	0	0	0	0	0	36	12	0	207
人数	0	29	345	0	0	0	0	0	40	25	0	439

## (2)要約筆記者派遣事業

- 自主事業は、企業など専門分野へ派遣しているものです。
- 企業への派遣実施は39件、89人でした。毎月の定例会議、聴覚障害の社員への手書きノートテイクおよびパソコンノートテイクによる派遣を実施いたしました。

## 3.「手話タイム・プラスワン」(県広報番組)協力事業

- びわ湖放送において県政ニュースを手話と字幕で伝える番組「手話タイム・プラスワン」(年間20回)への制作協力を行いました。
- ①手話キャスター、聴覚障害者アシスタント、健聴者アシスタントを、各回1名ずつ派遣しました。
- ②番組内「ミニ手話教室」においては、季節にあわせた日常的な手話を紹介し、聴覚障害者だけでなく広く県民へ周知しました。行事案内のほか、「きこえの相談」の周知に努めました。聴覚障害理解に役立つ時事情報など、聴覚障害者の暮らしの豊かさを深められるような内容を企画しました。

## 4. 聴覚障害者用ビデオ制作事業

- 聴覚障害者が様々な情報にアクセスできるよう、行政機関や団体などからの依頼に応じて手話や字幕挿入や、聴覚障害者のための映像制作を行いました。
- 甲賀市行政情報番組「きらめきあいこうか手話ダイジェスト」の手話挿入を行いました。
- 近畿合同機構の映像制作担当の研修に参加しました

## 5. 情報機器の貸出・・・管理運営事業で一括報告

## 6. 聴覚障害者向けITサポート事業

この事業は滋賀県よりITサロン事業の委託を受け、滋賀県立聴覚障害者センターにおいて、主に県内の聴覚障害者を対象に、ITに関する支援をしています。

	①	②
相談会場	滋賀県立聴覚障害者センター	
相談日時	月曜～金曜 9時30分～18時00分	

①随時相談支援をしました。

[相談件数]

相談人数	62人
相談件数	83件

※相談者1人から複数の相談があった場合、内容の数を件数に加えています。

[相談内容]

- パソコンソフト:ワープロ、表計算、メール、写真加工、地図作成、年賀状、チャット、SNS(ソーシャルネットワーク)等の操作やインストール、リカバリー方法
- OS:Windows7 Windows8 Windows10の操作
- 周辺機器:プリンターの動作 デジカメの使い方 USBメモリの使い方 HDDについて
- 通信関係:LAN接続、WiFi モバイル通信 無線LANについて
- ウイルス関係:ソフトの更新、設定等
- 携帯電話、スマートフォン、タブレットの操作について
- パソコンやスマートフォンの購入について
- 暗証番号の取り扱いについて
- 契約内容について(プラン、2年契約、解約など)
- 電話リレーサービスの利用について

[相談の傾向]

- スマートフォンやタブレットの相談が増えてきました。それに伴い、WiFi、iPhone、iPad、Android、アプリの相談もあり、IT相談の内容の幅が広がっています。
- 携帯電話の契約の内容(2年契約など)が複雑になってきているのでその相談も増えてきました。

○近年はスマートフォンやタブレット購入の際、契約内容の仕組みや内容の情報不足のまま購入してしまったというケースも多くあります。そのため、使い方だけでなく契約に関しての情報も提供する ICT 講座の意義を感じています。

○電話リレーサービス事業の開始により、利用に関する相談や支援もありました。情報リテラシーの課題が見えてきました。

## 7. 電話リレーサービス事業

### (日本財団モデルプロジェクト委託及び厚生労働省:高度情報通信等福祉事業費国庫補助)

○2013年9月より日本財団によるモデルプロジェクトとして参画。

○今年度は専用プラットフォームにより全国約8000名の登録者を対象にサービスの提供を行う

○全国の聴覚障害者情報提供施設4カ所及び民間事業所3カ所で行う。

○成果

- ・聴覚障害者が「電話」というツールを使うことにより、新たな連絡手段となっています。
- ・これまでの電話通訳と違い、自宅や外出先など好きな場所から電話の依頼ができるため、聴覚障害者の社会参加の一助となっているといえます。
- ・電話をかける頻度が高いかけ先においては、サービスの周知が進み、スムーズに会話に入れる事例が出てきました。
- ・2017年12月20日よりiOS(iPhone、iPad)が利用可能となったため依頼が急増しました。サービスの需要は年々増加している点から、有用性があることが明らかになってきています。

○課題

- ・サービス開始から4年半が経過しましたが、サービス自体の社会への周知はまだ十分ではありません。電話のかけ先の多くは聴覚障害者との会話に慣れていないため、リレー開始時にサービス内容を説明するが、本人ではないという理由で同意を得られずリレーを断られる事や、不審がられる事があります。サービスの内容だけでなく、手話や文字での通訳であるため若干のタイムラグがある点なども含め、電話のかけ先にサービス周知を図っていく必要があります。
- ・また同時に聴覚障害のある利用者への電話マナー周知の必要性が課題となってきています。
- ・件数が増加していることから、オペレーター(通訳者)の交代や、用件のみを伝えるサービスとなっていることから利用者に支援が必要と感じた場合にできないなど、オペレータの身体的および心理的負担となる場合もあります。
- ・今後全国的にオペレータの通訳スキル向上のためや今後の利用件数増加に対して、統一した対応ができるよう研修を行う必要があります。

## 8. 大津市聴覚障害者相談員設置事業

この事業は大津市より委託を受け、大津市在住の聴覚に障害のある方々の地域生活支援を行います。

○年間活動件数 年間の個別活動の件数は延べ人数1,079人、述べ回数1,334回でした。

[支援方法別]

	訪問	来所相談	同行	メール・FAX	関係機関	合計
人数	228	7	7	531	306	1,079
述べ回数	290	8	10	618	408	1,334

[支援分野別]

	福祉サービス 利用等	障害や病状の 理解	健康・医療	不安の解消・ 情緒安定	保育・教育	家族関係・ 人間関係
人数	407	82	116	35	11	43
延べ回数	518	100	211	42	28	85

	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・ 余暇活動	権利擁護	その他
人数	13	11	5	216	0	78
延べ回数	85	17	10	220	0	79

## ○個別支援状況

- ・出張相談を7会場で開催し個別相談を実施、開催地域の高齢難聴者が相談につながりました。
- ・個別相談では、通訳派遣からろう者の生活課題が分かり相談につながるケースがありました。

### ①「おおつ・みみサロン」の開催

- ・大津市の聴覚障害者の半数以上が高齢者であることから、介護予防をテーマに企画しました。
- ・実施内容

日程	テーマ	参加人数
5月11日	いつまでも元気であるために～介護予防と体操の紹介～	16名
7月13日	大津市の高齢者施策について	19名
8月30日	毎日の食事を見直して元気なからだになろう *唐崎公民館	21名
11月9日	認知症サポーター養成講座	28名
1月11日	からだ柔らか筋力ちよっとUP体操	12名

- ・実施状況：1回は唐崎公民館で出張みみサロンを実施し、地域の聴覚障害者が多数参加しました。身近な内容（日常の食事の見直し）で質問が相次ぎました。また認知症サポーター養成講座は、長寿政策課主催の一般市民向け企画を聴覚障害者が情報保障をつけて受講でき、今年度一番参加者の多い回となりました。

### ②出張相談ろう者企画の実施

- ・出張相談の1回をろう者企画にし、地域の社会資源について情報提供をしました。

日程	テーマ	参加人数
9月27日	手話で話そう～あんしん長寿相談所について～	8名

### ③出張相談盲ろう者企画の実施

- ・盲ろう者の社会参加を目的に出張相談を行いました。

日程	テーマ	参加人数
2月7日	盲ろう者岡本さんと交流しよう	3名

### ④「おおつきこえの福祉講座」の開催

- ・今年度は3回実施し、個別相談の時間を多く取りました。
- ・実施方法を工夫しました。お試し補聴器を着けて講義を聞く、シンポジウム形式で短く発信して高齢参加者が集中を切らさないようにするなど、適切な補聴器購入に向けた情報提供を試みました。

日程	内容(実施方法等)	参加人数	個別相談
6月8日 10時～16時30分	講義2コマとグループ相談 午前中、個別相談。午後は講義のあとグループ相談	12名	6名
10月12日 10時～16時30分	希望者はお試し補聴器を装着して午後の講義を聴く。 その後フォロー相談。	18名	14名
2月8日 13時30分～16時30分	パネルディスカッション形式。聴こえの基本情報を資料 にして配布。	18名	3名

### ⑤出張相談

- ・年間開催日を決めた出張相談と、個別申込者の出張相談を行いました。（\*は個別申込者）

会場	開催日	のべ参加者数
南郷公民館	6/12、12/11 （2回）	11名
唐崎公民館	6/21、10/4、12/6、*12/14 （4回）	17名
坂本公民館	7/19、9/27、11/1、1/17、3/7 （5回）	34名
富士見公民館	*12/25 （1回）	1名
仰木の里自治会館	*11/16 （1回）	1名

大津市障害者福祉センター	4/24、4/26、5/22、5/24、6/7、6/14、6/26、7/5、 7/12、7/24、8/2、8/9、8/28、9/13、9/25、10/11、 10/23、11/8、11/27、12/13、1/22、1/24、2/14、 3/14、3/26 (25回)	12名
明日都浜大津	*6/23 (1回)	2名
合計 7会場	39回	78名

社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会

びわこみみの里 事業報告

1. 障害福祉サービス事業実施状況（定員30名中現員29名）

- ①就労移行支援事業 定員 6名 現員 5名
- ・個別支援(就労支援)
  - ・SST学習適宜実施(社会見学もあり)
  - ・就労アセスメント3名実施(養護学校高等部2年生受入)
  - ・OB・OGスマイル会支援
- ①就労継続支援B型事業 定員18名 現員20名
- ・個別支援(就労事業実施)
- ③自立訓練(生活訓練)事業 定員 6名 現員4名
- ・個別支援(軽作業・調理訓練等)
  - ・手話学習週1回15分ほど実施
- ④送迎サービス(23名、他は自力)
1. 草津コース 約60分(O宅-三宅-今宿-洲本停-みみの里)
  2. 野洲コース 約40分(野洲駅-樹-M宅-Y宅-みみの里間2台)
  3. 堅田コース 約40分(堅田駅-琵琶湖大橋東詰-みみの里)
- ⑤施設外支援・就労(移行・継続事業対象)
- ・S氏畑作業(雨天外毎日)12月にて契約終了
  - ・Y氏畑作業(毎日)
  - ・T産業内作業(週3回2or4時間)
- ⑥その他適宜関連機関とのケース会議等多数あり

2. 入退所等

- 4/ 1 Mさん生活訓練入所  
4/ 1 Tさん2名生活訓練から就労移行へ  
4/30 Hさん生活訓練退所(在宅)  
4/30 Sさん生活訓練退所(在宅)  
4/30 Uさん生活訓練退所(在宅)  
7/ 1 Hさん生活訓練から就労移行へ  
7/31 Yさん継続B型退所(就労)  
12/ 1 Tさん就労移行入所  
12/26 Mさん継続B型退所(転籍)  
1/ 1 Iさん就労移行入所  
3/31 Hさん生活訓練退所(転籍)

3. 就労事業実施状況

- ①カフェ販売 営業は週3日(水曜pm～金曜)
- ②菓子製造 作業週5日  
菓子出張販売
- ③トリミング 営業週5日トリミング資格試験に向けての学科、実技学習実施  
ドクトレーニング・マッサージ等委託実施
- ④縫製・「アトリエ藍」等不定期縫製品受注

- 軽作業 独自手作り・縫製品を製造し喫茶、イベント等で販売  
就労事業振興センター共同事業「steed」 バッグ(競走馬ゼッケン帆布)の  
製造販売  
おうみんち等への出張販売活動  
東洋産業施設外グループ就労
- ⑤エコ ボランティア回収アルミ缶の圧縮作業  
高畑産業、ヒロノ技研下請け作業等  
S氏、Y氏畑作業・収穫品袋詰め作業  
東洋産業施設外グループ就労

## 5. 会議・研修等

- ①全体職員会議 3.5時間位  
(別途「運営」「支援」「作業」会議各月1回1時間開催)  
4/24、5/22、6/26、7/24、8/28、10/23、11/27、12/25、1/29、2/27、3/26
- ②外部会議
- ・ 湖南地域障害者サービス調整会議進路部会(松村) 6/2、2/2
  - ・ 守山市障害者自立支援協議会(板垣) 5/30、7/25、9/26、11/28、1/30、3/27
  - ・ 守山市障害者通所施設連絡協議会(板垣) 5/19、7/14、9/15、11/17、1/19、  
3/16
  - ・ 守山市福祉フェア実行委員会(板垣) 6/23、8/25、9/26、11/28
  - ・ びわこみみの里ポンポコまつり実行委員会(横田、板垣) 4/12、26、5/10、24、6/7、  
8/9
  - ・ びわこみみの里を支える会 1/18、3/31
  - ・ 聴覚障害支援関係者就労移行情報共有会(横田) 11/20、12/21、1/17、2/19
  - ・ 滋賀県就労移行支援事業所協議会(横田) 12/5
  - ・ 全国ろう重複障害者施設連絡協議会総会埼玉(板垣) 6/24・25
- ②職員研修
- 6/19 社会保険説明会(林)
  - 6/26 虐待防止研修(全員)
  - 7/15～17 ろう・難聴者のメンタルヘルス研修会(東京、松村)
  - 7/22 年末調整・軽減税率制度説明会(林)
  - 8/10 目標工賃達成指導員研修(中西)
  - 8/22 J K C トリマー義務研修(小笠原)
  - 9/11 大阪ろうあ会館 S S T 研修(松村)
  - 9/25 スタッフ事例報告発表会(全員)
  - 10/18 法人正職員合同研修会(横田、板垣、松村、太田、小笠原、中西、林)
  - 11/25・26 全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会埼玉(板垣、太田)
  - 12/4・5 手話研修センター経営者講座(松村)
  - 12/16・17 全国ろう重複障害者施設連絡協議会主任研修会大阪(太田)。
  - 2/22 滋賀県福祉学会障害児・者分科会(松村)
  - 3/ 2 聴覚障害者相談員研修(松村)
  - 3/ 7 共済会説明会(林)

- ④スタッフ会議 1.5時間位  
4/10、6/19、9/12、11/13、2/13。

- ⑤スタッフ学習  
7/10 他の障害を知ろう  
10/10 一泊旅行を安全に楽しく過ごすには  
1/15 食育学習  
3/13 部門別発表会

6. 出店・イベント・レク等

- 4/ 4 チャリティーマルシェ出店  
5/14 ルシオール出店  
6/13 チャリティーマルシェ出店  
6/25 滋賀県ろうあ者大会出店  
7/15 聾話学校寄宿舎七夕祭り出店  
8/ 6 滋賀県知的障害者教育福祉振興大会出店  
9/10 手話ふれあいフェスティバル出店  
9/15 野洲養護学校文化祭出店  
10/ 7 守山市福祉フェア出店  
10/ 7 湖北みみの里出店  
10/15 蒲生野まつり出店  
11/23 守山市福祉大会出店  
12/ 9 三方よしエコフェア出店  
2/11 法人後援会映画会出店  
2/16 滋賀県多職種連携学会研究大会出店  
3/17 法人セミナー出店

7. 体験実習・職場実習受入等(入所予定者の事前実習は除く)

- 8/ 8 聾話学校高等部1年1名就業体験  
11/ 8~10 立命館守山高校1年4名福祉学習  
12/8・11・12 守山北高校1年15名フィールドワーク

8. 施設見学

- 7/ 6 京都市聴言センター職員  
7/19 京都市聴言センター職員  
8/10 甲賀市同和人権事業促進協議会信楽支部  
9/15 守山市民生委員協議会  
10/19 栗東市手話講座生  
10/26 栗東市大宝学区民生委員協議会  
11/ 9 近江八幡市八幡学区社協  
11/14 宝塚市第一地区民生委員協議会  
11/16 三田市民生委員協議会  
11/24 宇治市菟道地区民生委員協議会  
11/24 守山市社協



- 11/30 甲賀市牛飼地区教育集会所
- 12/ 7 大津市瀬田地区民生委員協議会
- 2/ 1 守山市人権政策課研修
- 3/15 草津市笠縫学区民生委員協議会
- 3/26 大津市滋賀地区民生委員協議会
- その他個人数名見学などあり

#### 9. ボランティアの支援・交流会等

現在ボランティア登録者約60名

- ・グループ「ポパイ&オリーブ」（略称ポパリ）協力  
自主活動(縫製作り・畑作等)随時みみの里内にて
- ・スタッフとの交流会（ボランティア10数名参加）  
7/11、12/12、3/13。

その他、縫製品デザイン、技術指導ボランティア週1～2回数名

2名の固定ボランティアによる各スタッフへのパソコン指導週1回  
他常時1～数名の各種協力ボランティア有り

#### 10. 地域交流

- 4/23 水保町春の美化活動(板垣)
- 7/16 河川愛護・美化活動(太田)
- 8/15 水保町夏祭り(板垣、松村)
- 8/20 秋の美化活動(横田)
- 1/18 速野小学校四年生ミニ講演(板垣)
- 2/13・15・16 速野小学校四年生5クラス施設見学来訪

#### 11. 施設の会議利用等

- 6/17 滋通研研究部
- 7/15 滋賀県手話通訳士会
- 12/17 クローバークラブ

#### 12. その他

- ・ 5/12 法人内部監査
- ・ 6/10 びわこみみの里ポンポコまつり
- ・ 6/19 火災避難訓練
- ・ 8/ 5 スタッフ家族懇談会
- ・ 8/ 7 台風によりスタッフ臨時休所
- ・ 8/10 10周年記念スタッフ職員等懇親会
- ・ 9/21 スタッフ歯科健診
- ・ 10/19・20 職員頸肩腕検診
- ・ 10/23 台風によりスタッフ臨時休所
- ・ 11/1・2 みみの里一泊研修旅行淡路島
- ・ 12/11 火災避難訓練
- ・ 1/16 社会福祉法人県監査
- ・ 2/ 5 スタッフ歯科保健指導

- ・ 2/ 9 スタッフ健康診断
- ・ 3/13 スタッフ家族懇談会

● 障害者相談支援事業

1. 特定相談支援事業

新規7名計画作成、5名継続。

終了1名(就労アセスメント期間のみ)

(今年度初めて外部豊話学校の生徒を対象に実施)

2. 就労よろず相談事業

4件あり。

3. その他 特になし

社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会  
平成29年度 湖北みみの里 事業報告

<施設運営の基本方針>

- 1 すべての利用者にとって、元気で楽しく笑顔いっぱいの生活が送れるようにします。
- 2 すべての利用者が得意とする労働を通じて輝けるようにします。
- 3 手話、筆記、その他のコミュニケーション環境を保障し、情報提供機能を高め、すべての利用者にとって、語らい、情報を共有でき、学びの場となるようにします。
- 4 手話や手話を使った科学・芸術・芸能を享受し、それらを地域に発信していけるようにします。

<事業内容>

- 1 就労支援継続B型事業の運営
- 2 県立聴覚障害者センター事業の一部の湖北地域での実施
- 3 聴覚障害者の社会活動にかかわる諸事業

<スタッフ（利用者）の状況>

- ・聴覚障害 17→16名（全員 うち視覚障害を併せ持つ人2名）  
Nさん（長浜）10月1日付でサービス廃止（特養へ）
- ・年齢 32歳～75歳
- ・米原市在住6名 ・長浜市在住9→8名 ・彦根市在住2名
- ・男性7→6名 ・女性10名

<職員体制>

- ・管理者 1人（サビ管兼務）
- ・サービス管理責任者 1人
- ・事務職員 0人（請求事務、小口現金出納はそれぞれ生活支援員で）
- ・生活支援員 2人
- ・職業指導員 2人（月6日1人 1日6時間週4～5日1人）頭数5人

<具体的な取り組み>

1. 障害福祉サービス事業実施状況

- ①就労継続支援B型事業 定員 20名 現員 15名（開所時）
  - ・木工竹工班（1班）
  - ・縫製班（2班）
  - ・農作業班（3班）
  - ・もぐさ班・空き缶つぶし班
- ②送迎サービス 1コース（最大）3名…旧長浜・虎姫コース
- ③おたのしみ企画（毎週 基本水曜日）
- ④いきいき教室参加（月1回）
- ⑤個別面談（4月／10月）
- ⑥おたのしみ企画（基本毎週）
- ⑦誕生会 春・夏
- ⑧昼食会（Nさん退院祝い）
- ⑨ひなん訓練（10/10）

## 2. 入退所等

2017年9月いっばいで Nさん退所（前掲）

## 3. 就労事業実施状況

①木工・竹工製品の製造販売

改修サービス

②布製小物・カバン・着物・指編みマフラーなどの製作販売

③よもぎパスタ製造（開発準備段階）

④下請け作業…もぐさ詰め

⑤空き缶（アルミ）つぶし

———製品については各種マルシェ、まつり等へ出店販売

どうしたらよい商品、売れる商品が作れるのか、検討し直す必要を感じている。

専門講師の招聘など検討中

よもぎパスタ開発の加速

## 4. 会議・研修等

①全体職員会議 毎月1回（開所前後は2～3回）

必要に応じて都度打ち合わせなど

②外部会議

・湖北障害者自立支援協議会（田邊・中村）

・きょうされん湖北・湖東ブロック会議（中村）

・湖北委員会（田邊）

・湖北地域しょうがい者支援事業所協議会（中村）

③職員研修

サビ管研修（前後5回のうち2回 伏木）

介護職員初任者研修（全22回 職員・田邊 スタッフ・田中）

基本毎週金曜日

その他製麺研修等（西川）

## 5. 出店・イベント・レク等

4/1～2 湖布 以降ほぼ毎月1回出店

4/22 ほおずき市出店

5/8 第3回チャリティーマルシェ in 米原出店

6/3 天の川ふれあい川まつり出店

6/10 ポンポコまつり出店

7/8 母の郷七夕まつり出店

7/30 柏原やいとまつり出店

8/5 バーベキュー大会（家族の参加を主眼に）

9/10 手話フェス出店

9/25 昼食会

9/27 昼食会

10/7 湖北みみの里まつり 200人？

11/5 滋賀大祭（彦根・滋賀大学経済学部）出店

11/16 歯科健診

- 11/22 Yさん退院を祝う会
- 12/1 ほおずき作業所バザー出店
- 12/26 げんきッズ坂田との交流 中寫さん特別参加
- 1/18 臨時休所 岡先生お別れ会参列のため
- 1/26 臨時休所 大雪警報発令による
- 2/10 冬なべのつどい

## 6. いきいき教室会場提供と参加

基本毎月第3水曜日

## 7. 施設見学・取材（来所）

- 4/24 米原市社協事務局長来所
- 5/1 きょうされん滋賀取材
- 5/5 近江地区民児協見学（30名） 6/13 布を寄付いただく
- 5/25 大阪市ろうあ会館より見学・交流
- 5/26 草津の手話サークル「おたまじゃくし」他見学
- 5/29 長浜市手話サークル「はまゆう」見学 田邊職員講話
- 6/2 大垣市安田氏他4名見学
- 7/10 岐阜聴協西濃ブロック見学（8名）
- 7/13 米原地区民児協見学（13名）
- 8/8 伊吹地区民児協見学（20名）
- 8/21 翔陽高校生2名 夏休み課題研究  
京都市聴協高齢部Oさん下見来所
- 9/19 小西栄養士来所・下見
- 9/26 米原社協い吹氏中川氏来所打ち合わせ
- 10/6 清水基金事務局池田氏来所、助成事業に関する下見
- 10/13 米原市山東地域民児協見学（20名）  
後日見学にいられた方から木工用機械いただく
- 11/14 米原市枝折おたすけ隊見学（10名）
- 11/30 滋賀きょうされん事務局

## 8. 施設の会議利用等

- 5/14 法人後援会総会
- 6/23 難聴協女性部
- 7/1 難聴クラブ
- 7/8 後援会学習会
- 8/5 聞こえの相談
- 8/20 米原市手話講座生交流会
- 9/16 滋通研定例会
- 10/29 聴覚障害教育を考える会
- 11/5 米原聴協バーベキュー大会
- 12/16 聞こえの相談  
盲ろう者友の会クレパス クリスマス会
- 1/15 米原聴協学習会（手話言語条例について）

※米原市手話講座（基本毎週火曜日夜）  
湖北委員会の会議 随時利用  
米原市聴協の会議・集会・学習会等 随時利用

## 9. 手話啓発

手話歌指導 げんきッズ坂田へ

## 10. 施設設備備品等整備状況

- ・正面玄関看板（愛甲氏寄贈）
- ・事務室照明器具取り替え（LEDに）（湖北委員会寄贈）
- ・木工室天井張替え（酷暑対策）
- ・業務用冷凍冷蔵庫（ダイトロン助成）
- ・職業用ミシン2台（ダイトロン助成）
- ・テント（中）（米原聴協寄贈）
- ・什器類など多数（多くの個人の方）
- ・アンプ用CDデッキ
- ・麺うち板（京都 いこいの村・たからの郷から寄贈）
- ・刺しゅう用ミシン1台（ダイトロン助成追加）

## 11. おたのしみ企画の内容について（1.－③の補足 1～3月分）

- 1/10 今年の抱負を語りあう（三中井のロールケーキ&紅茶付き）
- 1/24 スタッフAさんによるクイズとマジック
- 1/31 アロマセラピー体験 講師 野村先生
- 2/7 エンディングノートについて 湖北地域医療包括センターより
- 2/14 スタッフAさんによるクイズとマジック
- 2/28 紙飛行機大会（賞品、参加賞あり）
- 3/7 チラシずしづくり
- 3/28 お菓子づくり

## 12. その他

- ・カン回収月2回程度（米原市中多良地域）
- ・安田宅カン回収（適宜）
- ・きょうされん物品販売
- ・ダイトロン福祉財団贈呈式（6/13）
- ・坂田スポーツ少年団等に駐車場提供（随時）
- ・職員けいわん健診（10/19 20）
- ・県障害福祉課企画・指導係より実地指導（11/13）
- ・米原市社会福祉大会 田邊職員話題提供（11/19）
- ・米原市教育委員会初任者研修会 講師：田邊理恵子（12/5）
- ・就業体験（実習）受け入れ ろうわ学校高等部2年生Mさん（12/11～15）
- ・急な受診時等に市の手話通訳が使えないときの対応
- ・スタッフ以外の地域の聴覚障害者からの相談対応
- ・特別講師の招聘 木工…加藤直樹氏 農業…南紀与春氏 縫製…未定  
12月～ 具体化